

令和5年度（1学年用）

教科 地歴

科目 歴史総合

教科：地歴

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：川副）（2組：川副）（3組：川副）（4組：川副）（5組：川副）（6組：川副）

使用教科書：（歴史総合 近代から現代へ（山川出版社））

教科 地歴

の目標：

【知識・技能】 近現代の諸事象について、世界とそれの中の日本を相互的な視点から捉え、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめる技能を身につける。

【思考力・判断力・表現力】 諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。

【主体的に学習に取り組む態度】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数	
1 学期	結びつく世界	・アジア各地で大帝国が成立し繁栄していたこと、ヨーロッパ各国がアジアに進出し、経済が発展したことを理解する。 ・江戸幕府の統治方法や経済について、琉球やアイヌの役割について触れながら考察する。 ・宗教改革の考え方や影響、ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その影響を考察する。	○	○	○	3
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命によるヨーロッパ国内の変化や、世界的な影響について考察する。 ・アメリカ独立革命の理念を近しい、世界に与えた影響を考察する。 ・ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解する。 ・ナショナリズムの特徴を理解し、社会主義が生みだされた背景について考察する。 ・イギリス・フランス・イタリア・ドイツの国内状況をとらえ、対外政策の概要を理解する。	○	○	○	5
	定期考査		○	○		1
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・ラテンアメリカ諸国が独立を達成した経緯を理解し、南北戦争について、その原因と経過を考察する。 ・ヨーロッパ列強による東南アジア植民地化の全体像を把握し、その過程について理解する。 ・イギリスをはじめとした欧米列強に、中国が半植民地化されていく過程を理解する。 ・江戸幕府の政治が同様であった変動の様子を理解し、日本と欧米諸国との間で行われた貿易の特徴を考察する。	○	○	○	4
	明治維新と日本の立憲体制	・明治新政府の成立や諸改革・戊辰戦争の展開を理解する。 ・清を中心とした国際秩序を理解し、諸外国との外交関係を考察する。 ・自由民権運動が起こった背景・運動の高まりについて理解し、それに対する政府の対応を理解する。 ・松方正義がとられた背景や、政策の内容・与えた影響について考察する。大日本帝国憲法の成立過程を理解し、その特徴を考察する。	○	○	○	4
	帝国主義の展開とアジア	・条約改正が成功した国際的背景を理解し、その交渉過程や条約内容について考察する。 ・日清戦争が起こった背景を理解し、戦争の推移・結果、その後の日本と清・朝鮮に対する影響について考察する。	○	○	○	2
	定期考査		○	○		1
2 学期	帝国主義の展開とアジア	・帝国主義とは、どのような状況で生まれ、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。 ・イギリスやフランスが、アメリカやドイツに抜かれていった過程を考察する。 ・アフリカ大陸が、ヨーロッパ列強によって急速に植民地化されていく過程や、太平洋地域が欧米列強によって分割されていく過程を理解する。 ・日露戦争が起こった理由を理解し、清朝の終焉と中華民国成立の意義について考察する。	○	○	○	5
	第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察する。 ・日本の参戦以後、日中両国間でどのような動きがあったのか理解する。 ・パリ講和会議とヴェルサイユ条約の内容を理解し、国際連盟の限界を理解する。 ・ワシントン会議の内容を近しい、ワシントン体制で成立した国際秩序の特徴を理解する。 ・第一次世界大戦後に民族運動が活発になった要因を理解し、その影響について考察する。	○	○	○	7
	定期考査		○	○		1
	経済危機と第二次世界大戦	・恐慌が世界に波及した要因を追究し、世界に与えた影響を理解する。 ・ファシズム体制の特徴を理解し、ドイツが独裁体制を確立した経緯と、第二次世界大戦発生の原因を理解する。 ・金融恐慌・協調外交・満州事変が起こった背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。 ・二・二六事件・日中戦争が起こった背景を理解し、国際社会に与えた影響を考察する。 ・第二次世界大戦が起こった背景を理解し、戦後の世界に与えた影響を考察する。	○	○	○	6
	戦後の国際秩序と日本の改革	・アメリカとソ連の対立の背景を理解し、ヨーロッパ諸国が受けた影響を考察する。 ・中華人民共和国の成立・朝鮮戦争について理解し、東アジア・南アジアの独立について考察する。 ・連合国による日本占領の方法について理解し、民主化政策の特徴について考察する。 ・日本国憲法の制定過程や日米安全保障条約の内容を理解し、連戦の状況下で日本がどのような目的で安保条約を締結したのか考察する。	○	○	○	6
定期考査		○	○		1	
3 学期	冷戦と世界経済	・核開発競争の過熱化について理解し、原子力発電開発の本格化との関係を考察する。 ・冷戦の「雪どけ」の影響を理解し、東ヨーロッパ世界の動揺や中ソ関係の悪化を考察する。 ・西ヨーロッパが地域統合に取り組んだ背景と、アメリカの主導権から脱却しようとする西ヨーロッパの動きを理解する。 ・「第三世界」が形成された背景と、その活動を理解する。 ・中東戦争の経過を知り、イスラーム主義の台頭とパレスチナ解放機関が国際社会で地位を認められていく過程を理解する。	○	○	○	10
	グローバル化する世界	・ソ連が改革を行ったにもかかわらず、崩壊した理由について考察する。 ・東南アジア諸国での民主化の経緯や、南アフリカが目指した新しい国家のあり方について考察する。 ・パレスチナ問題や中東など、地域紛争が激化した経緯や、その後の諸問題について考察する。 ・21世紀に入ってからからの日本の政治における変化を考察する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		1